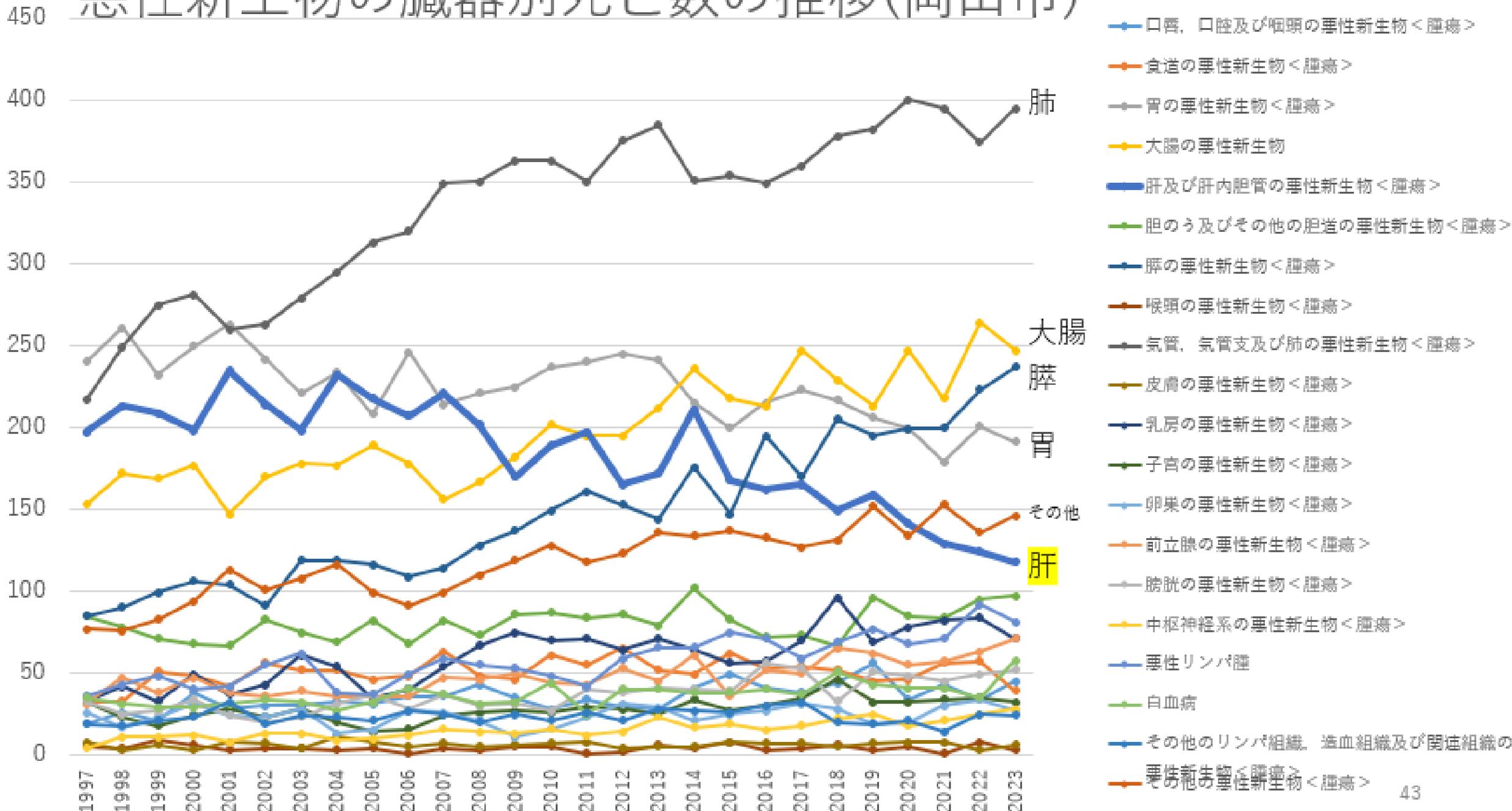


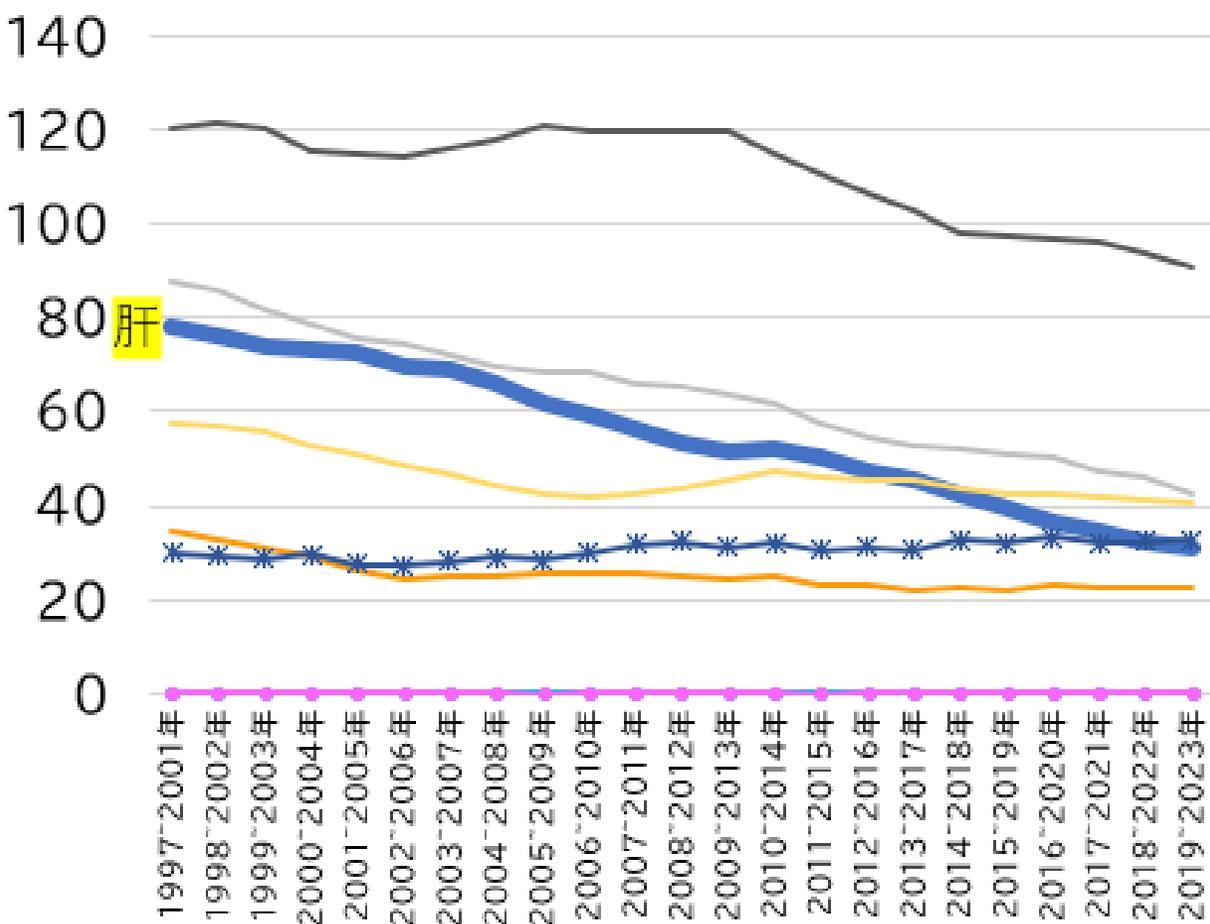
# 悪性新生物の臓器別死亡数の推移(岡山市)



岡山市

【年齢調整死亡率】(2015年人口モデル)  
(全年齢/男/5年移動平均)

(人口10万対)

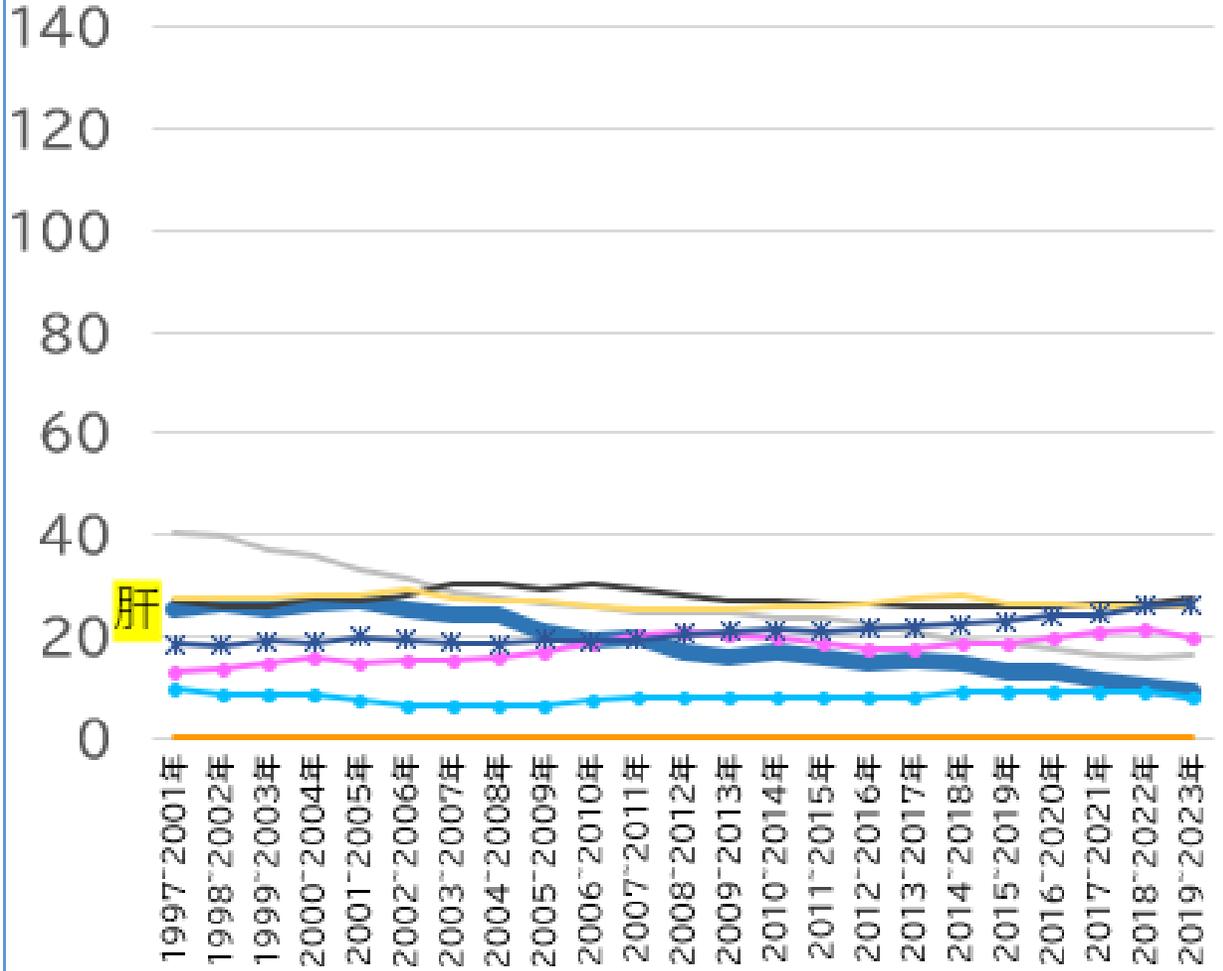


- 胃
- 肝及び肝内胆管
- 大腸
- 前立腺
- 膵
- 子宮
- 乳房
- 気管, 気管支及び肺

岡山市

【年齢調整死亡率】(2015年人口モデル)  
(全年齢/女/5年移動平均)

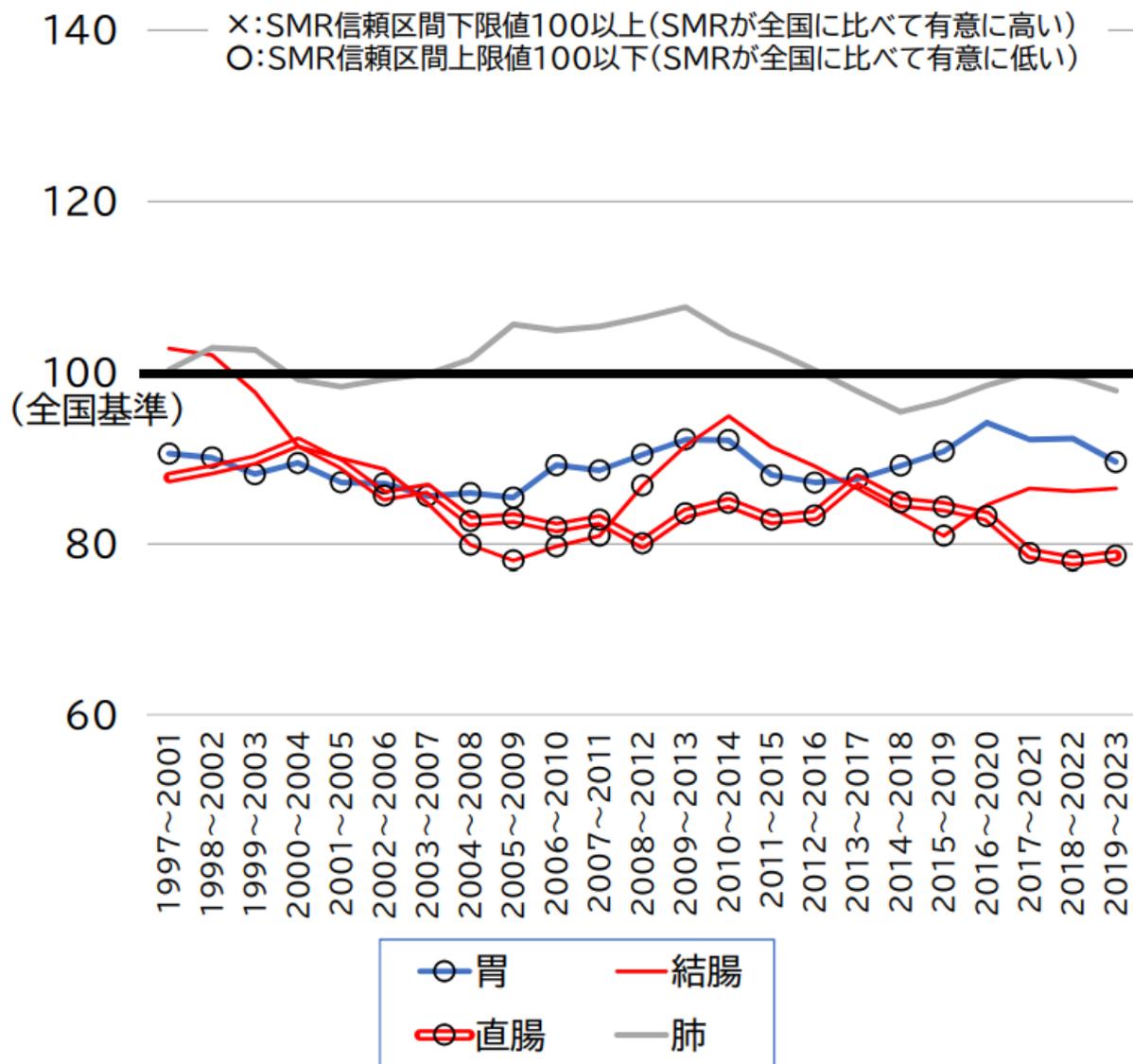
(人口10万対)



- 胃
- 肝及び肝内胆管
- 大腸
- 前立腺
- 膵
- 子宮
- 乳房
- 気管, 気管支及び肺

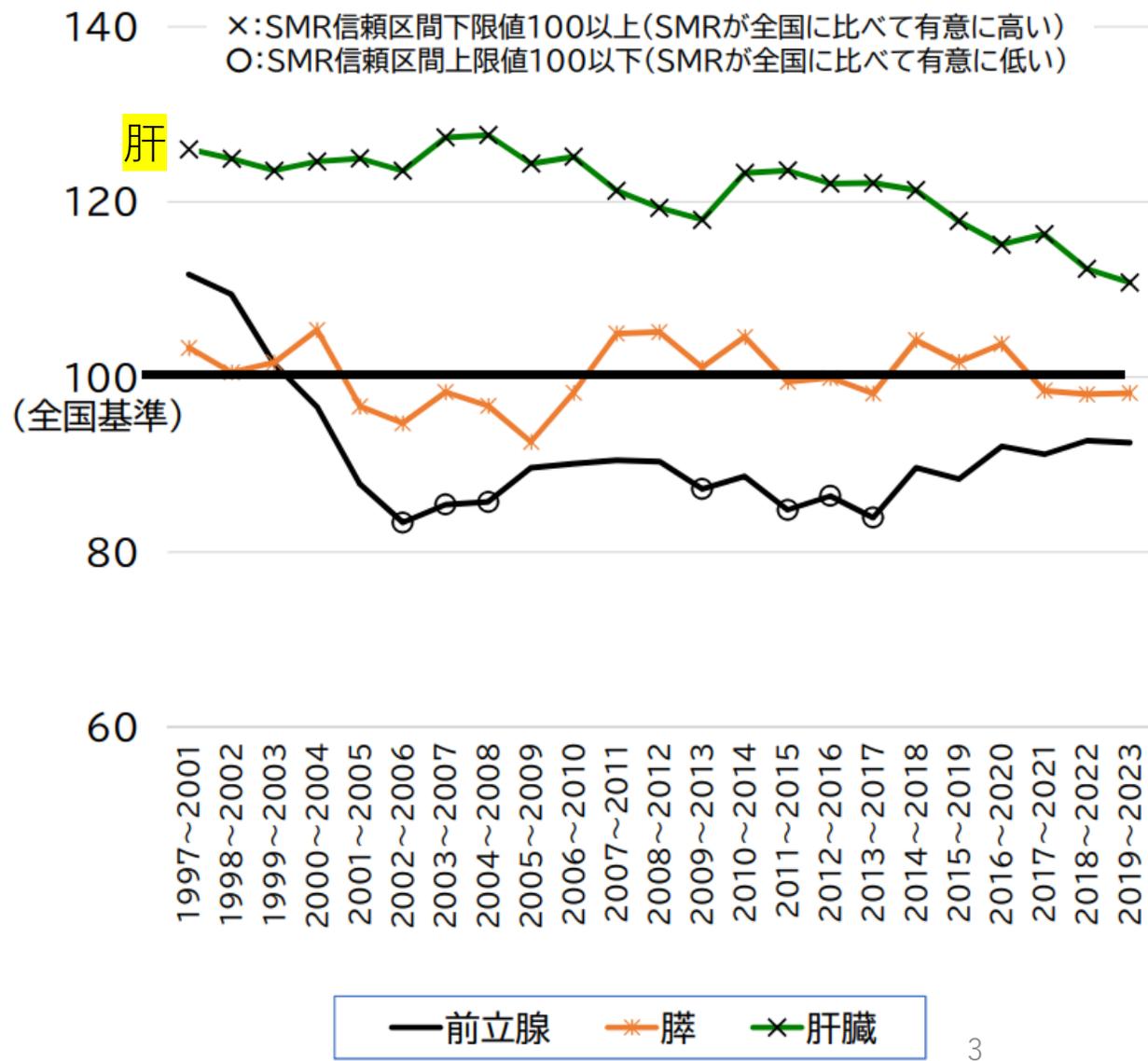
岡山市

【SMR】標準化死亡比(胃・結腸・直腸・肺)  
(全年齢/男)



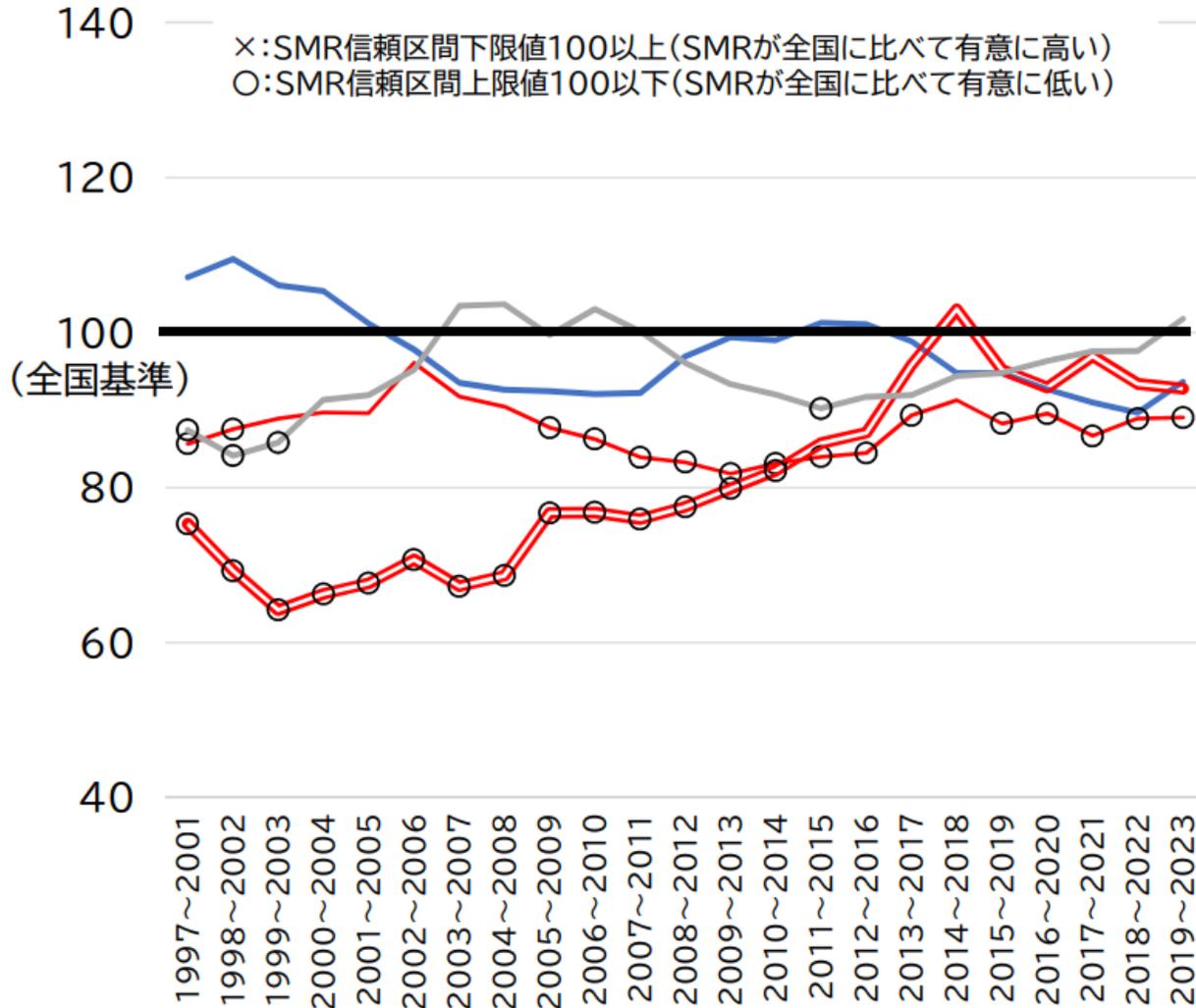
岡山市

【SMR】標準化死亡比(肝・膵・前立腺)  
(全年齢/男)



【SMR】標準化死亡比(胃・結腸・直腸・肺)  
(全年齢/女)

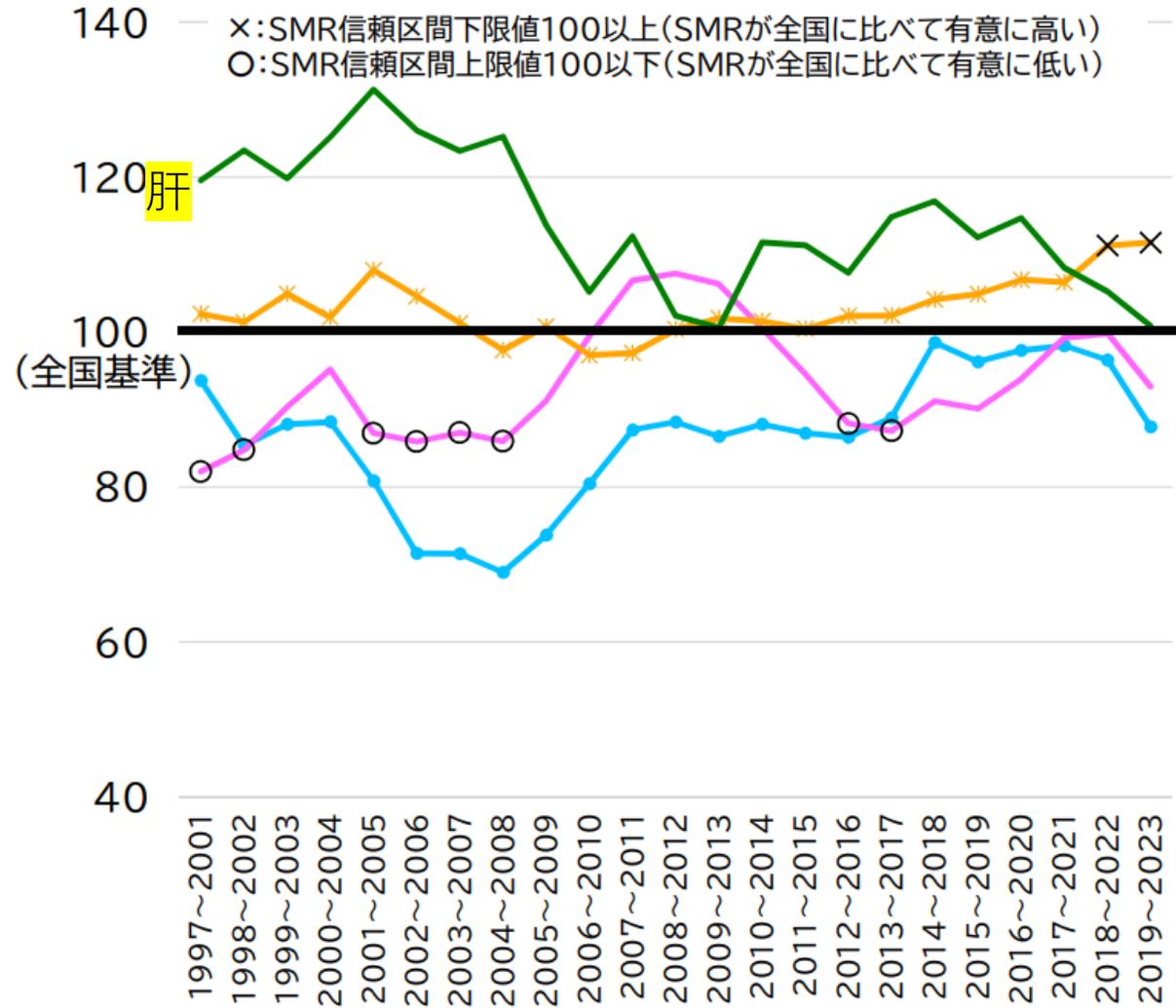
×: SMR信頼区間下限値100以上(SMRが全国に比べて有意に高い)  
○: SMR信頼区間上限値100以下(SMRが全国に比べて有意に低い)



— 胃 ○ 結腸 ○ 直腸 — 肺

【SMR】標準化死亡比(肝・膵・子宮・乳房)  
(全年齢/女)

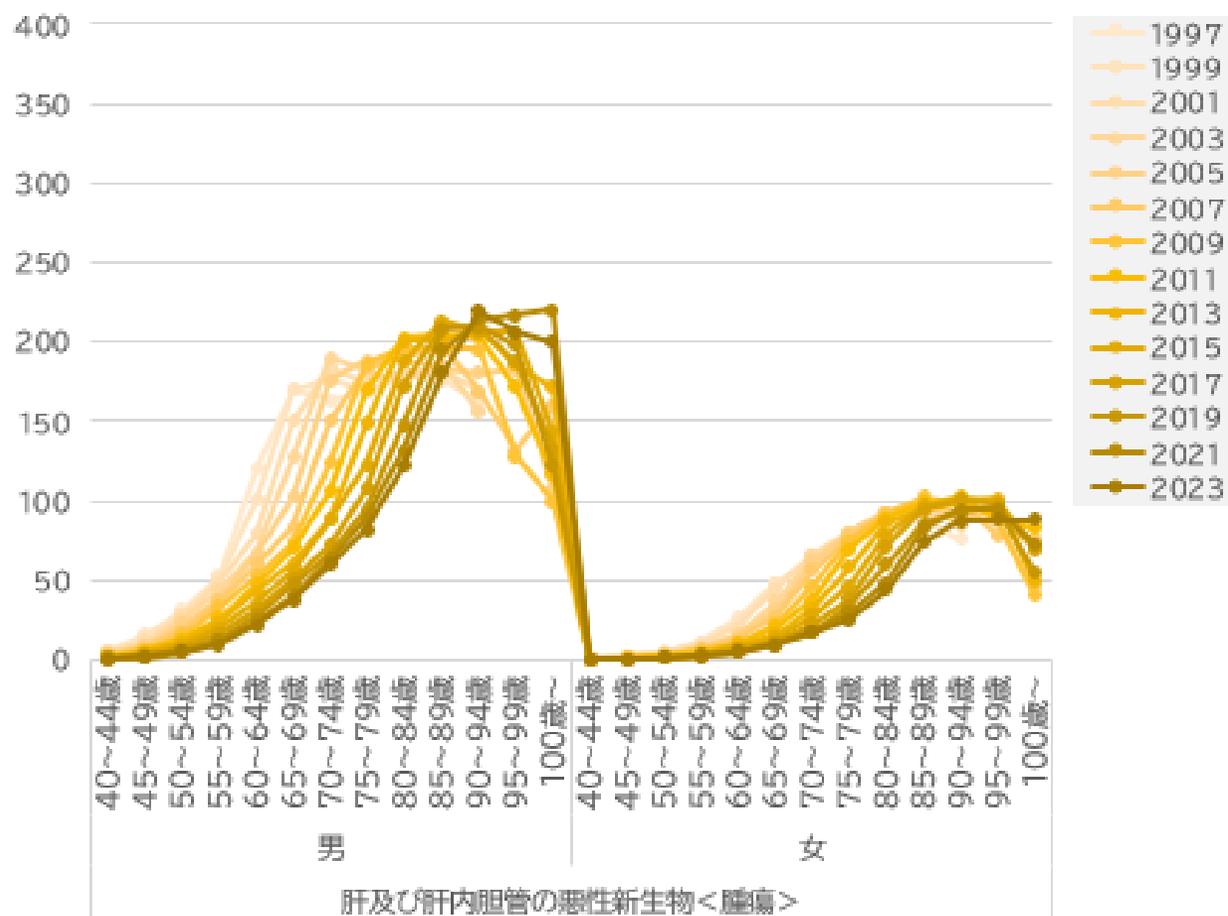
×: SMR信頼区間下限値100以上(SMRが全国に比べて有意に高い)  
○: SMR信頼区間上限値100以下(SMRが全国に比べて有意に低い)



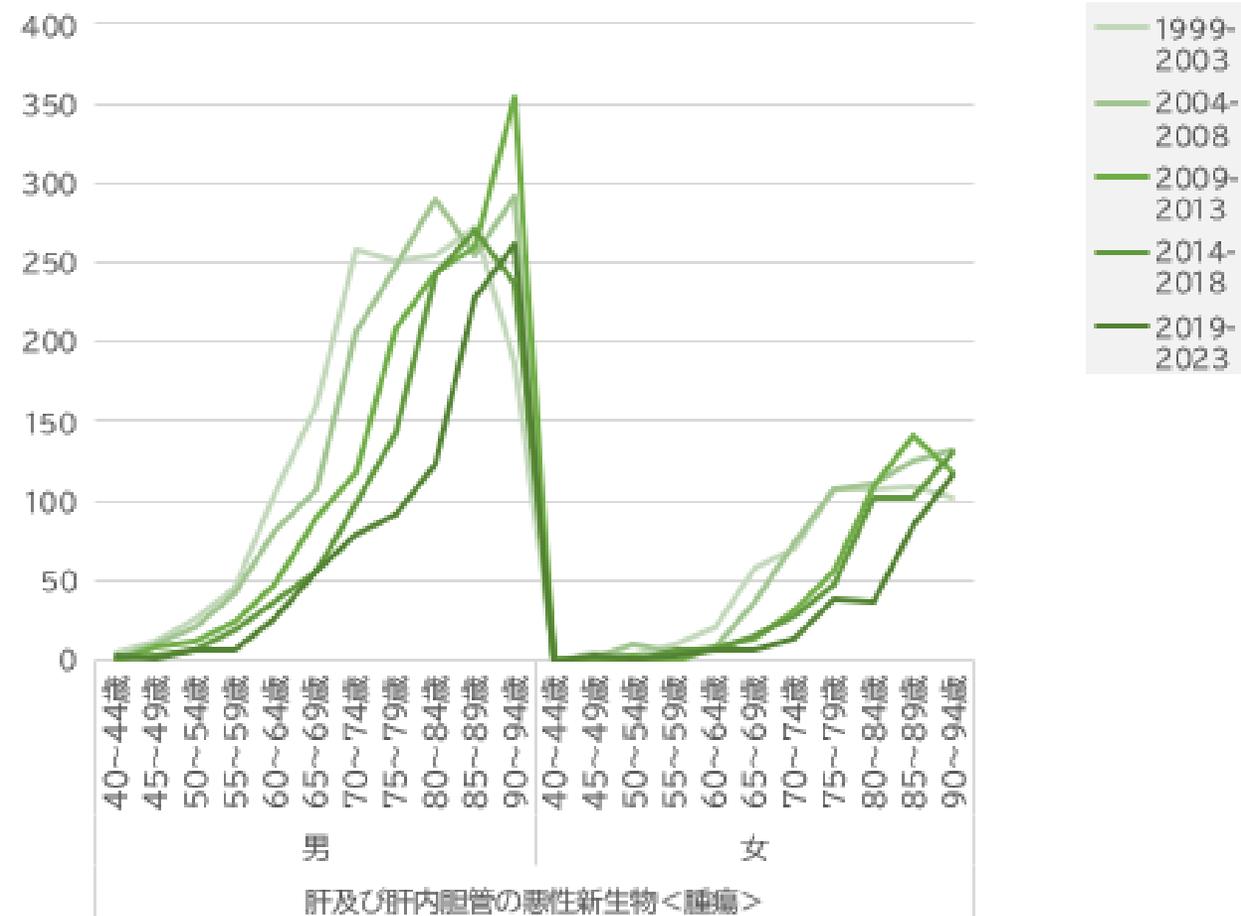
— 子宮 ○ 乳房 \* 膵 — 肝臓

# 肝がん性年齢階級別死亡率

全国データ



岡山市データ



全国：男性の死亡率が女性に比べ高い。

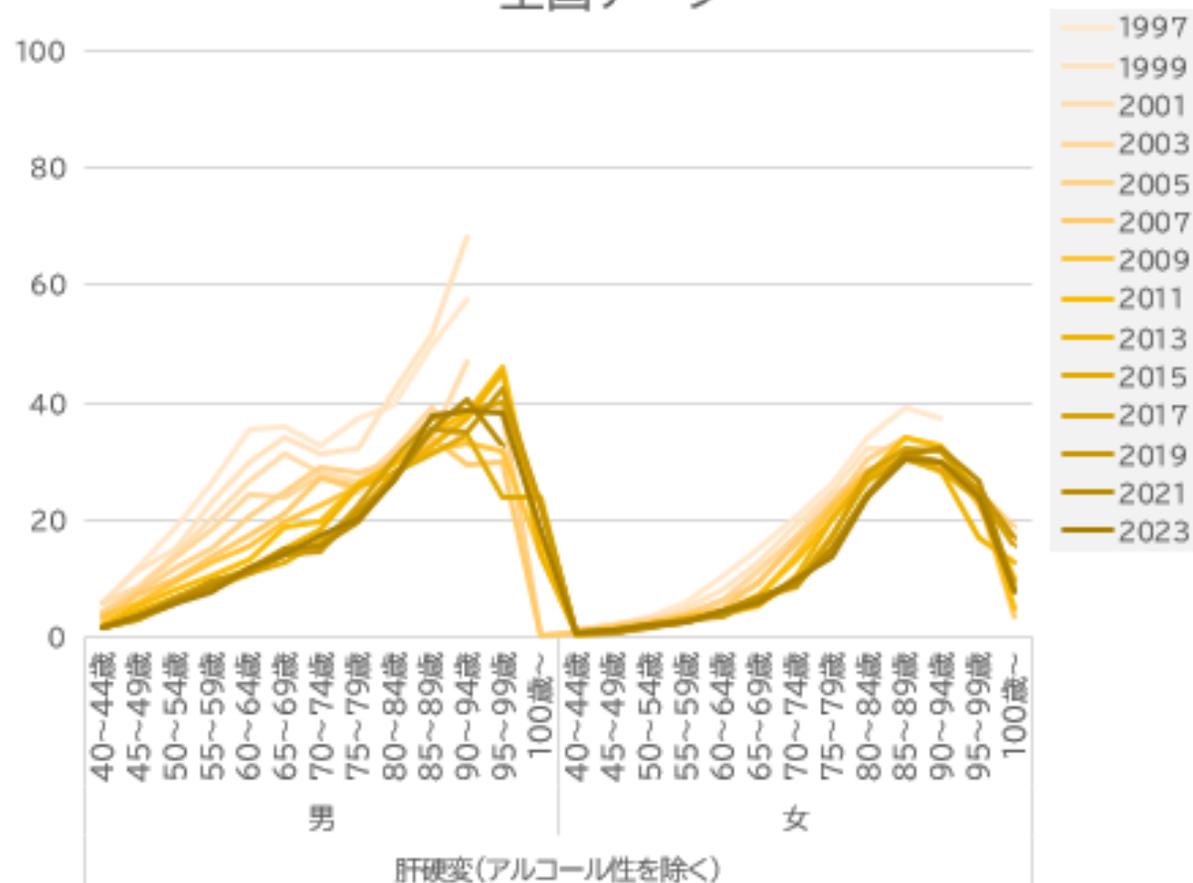
2000年前半までは50-60代での死亡率が高い傾向だったが、近年は70代以下の死亡率が低下。

岡山市：全国の傾向と同様に男性の死亡率が多く、80-90代での死亡率が高い。

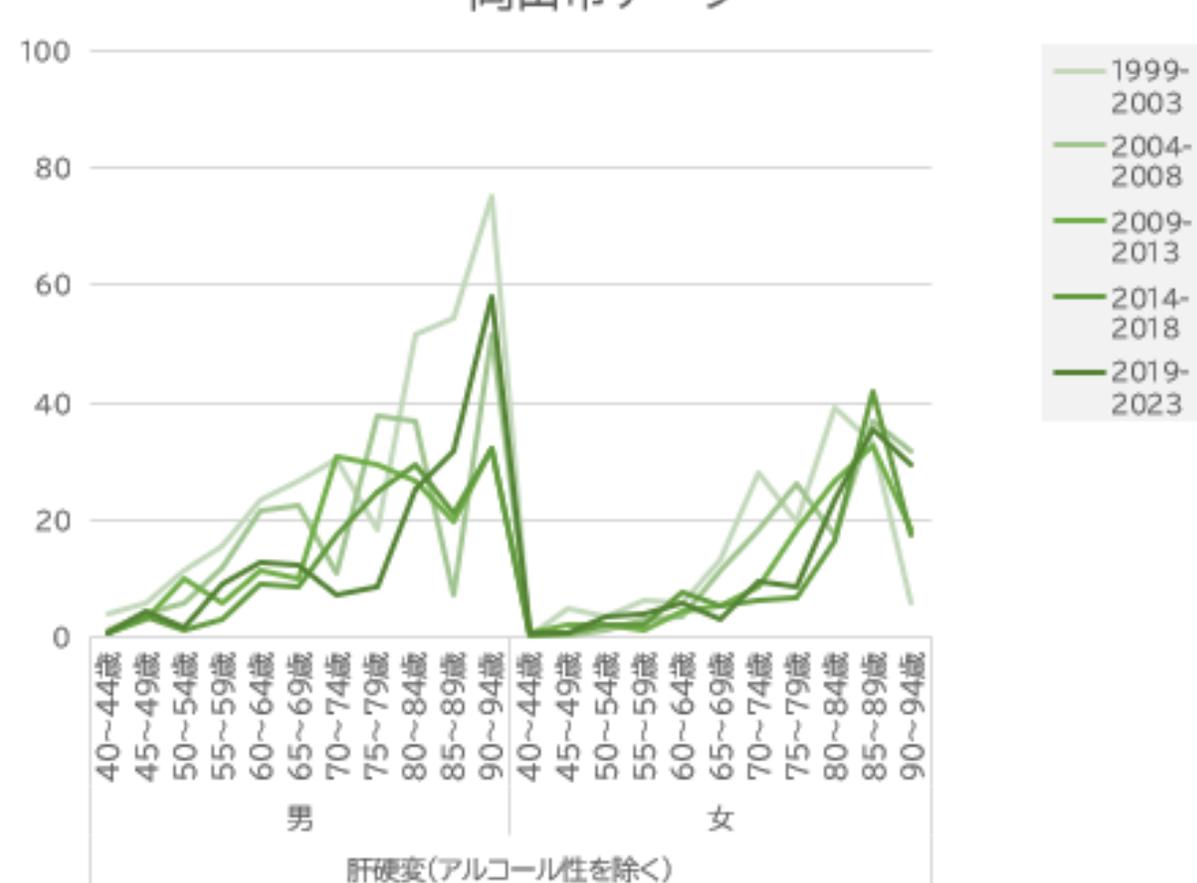
全国と比較し、男性の死亡率は高い傾向。

# 肝硬変性年齢階級別粗死亡率

全国データ



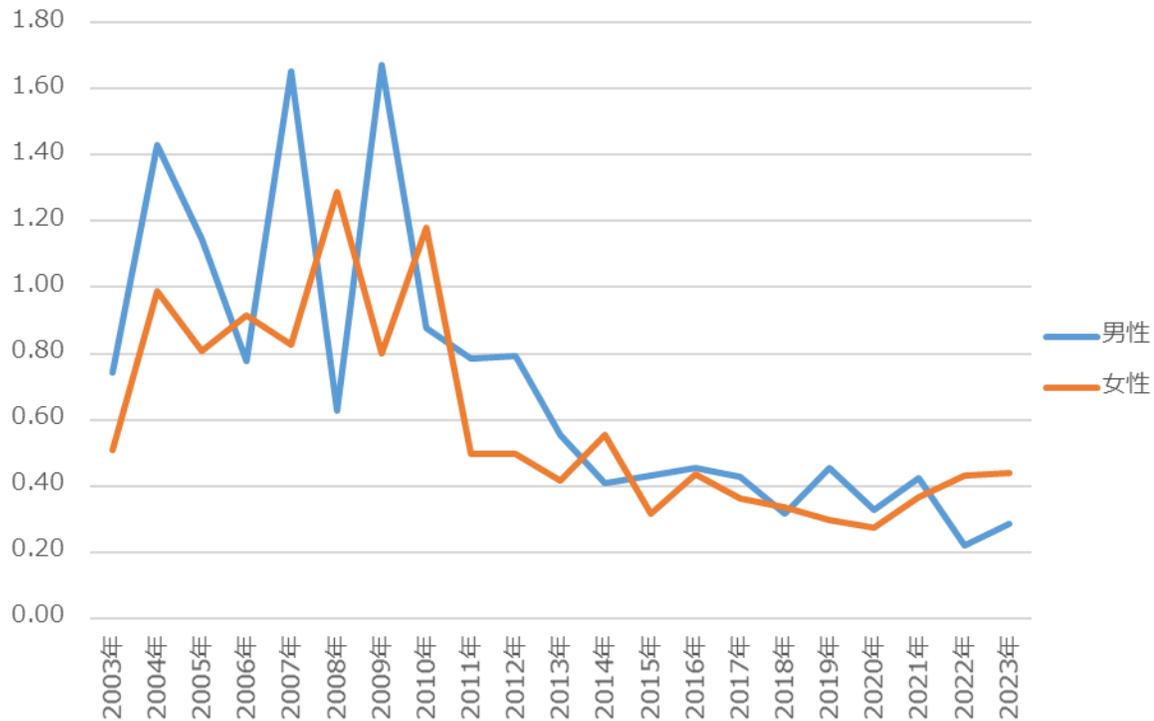
岡山市データ



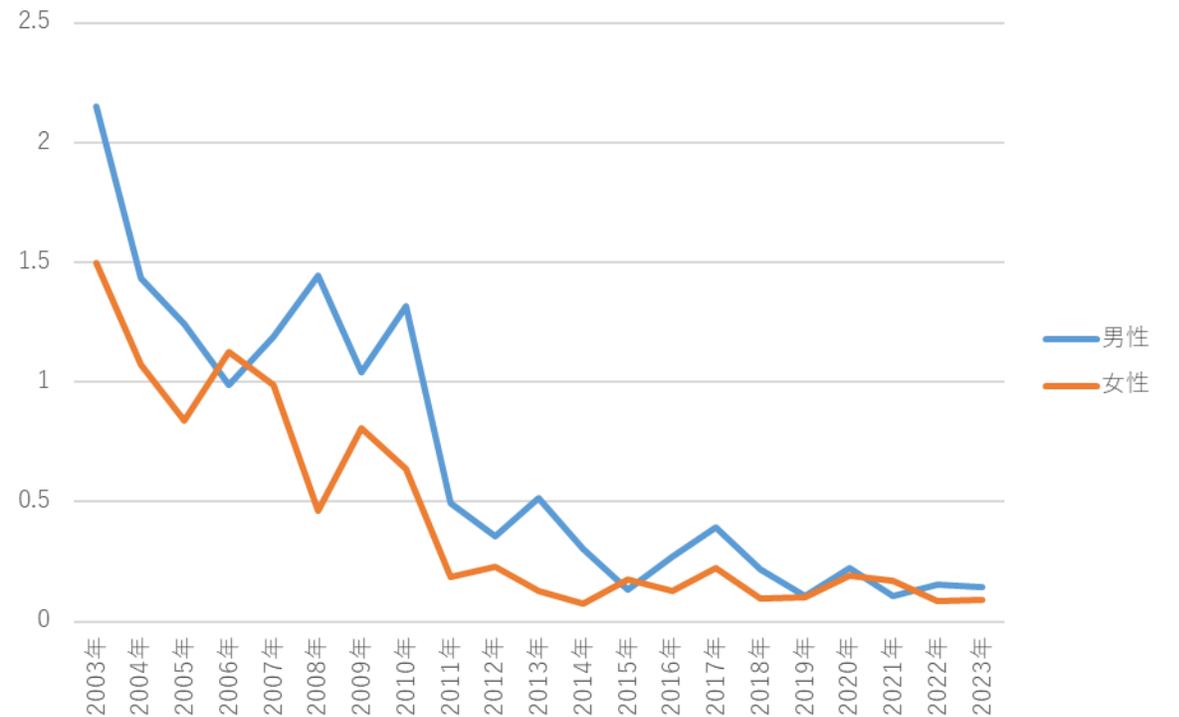
全国：2000年前半では50-60代での死亡率は高かったが、近年は50-60代の死亡率が低下。  
 岡山市：死亡率のピークは80-90代。

# 岡山市の肝炎ウイルス陽性率推移

## B型肝炎陽性率

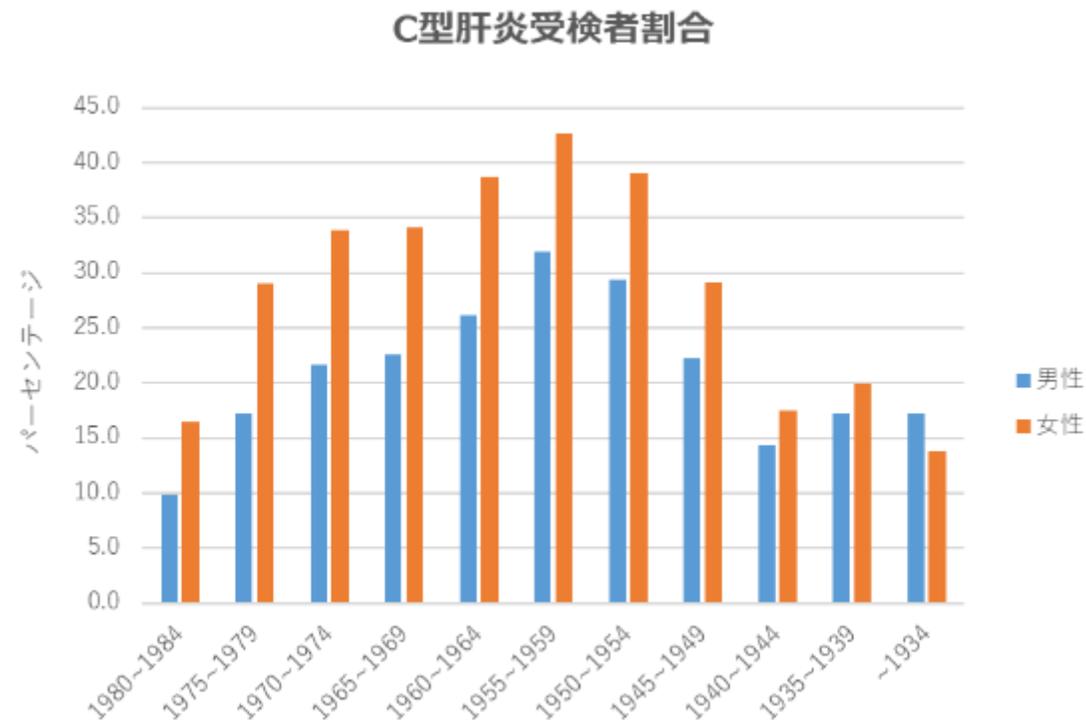
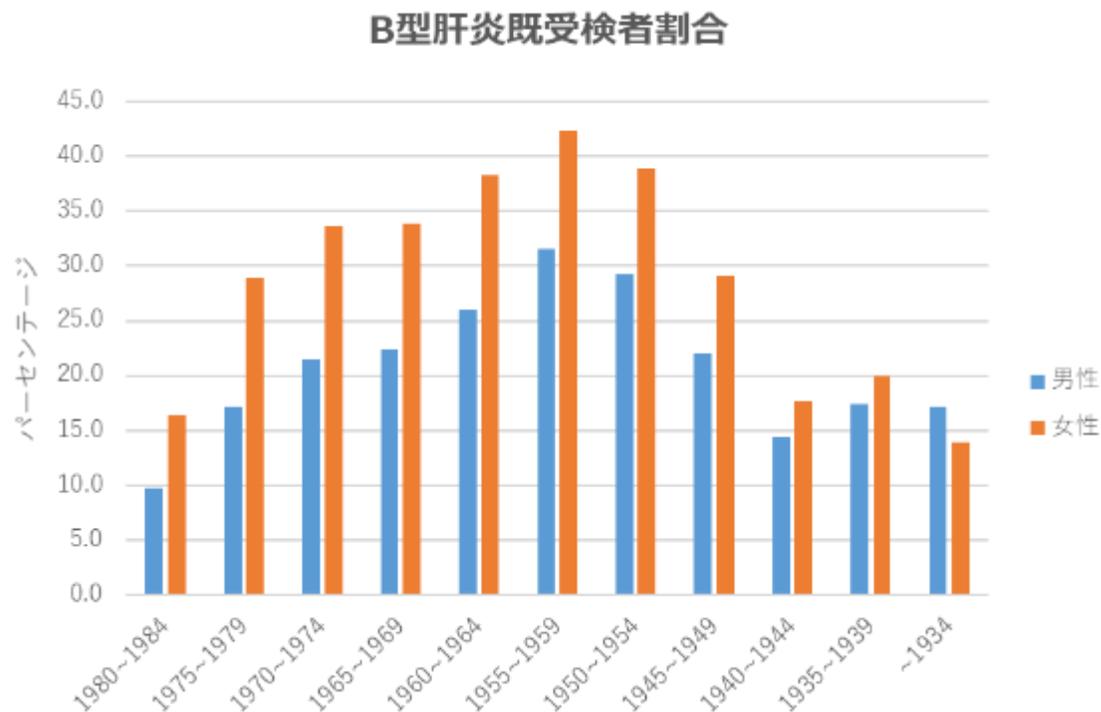


## C型肝炎陽性率



肝炎の陽性率は近年低下傾向。

# 岡山市生年別、肝炎検査予測既受検者割合

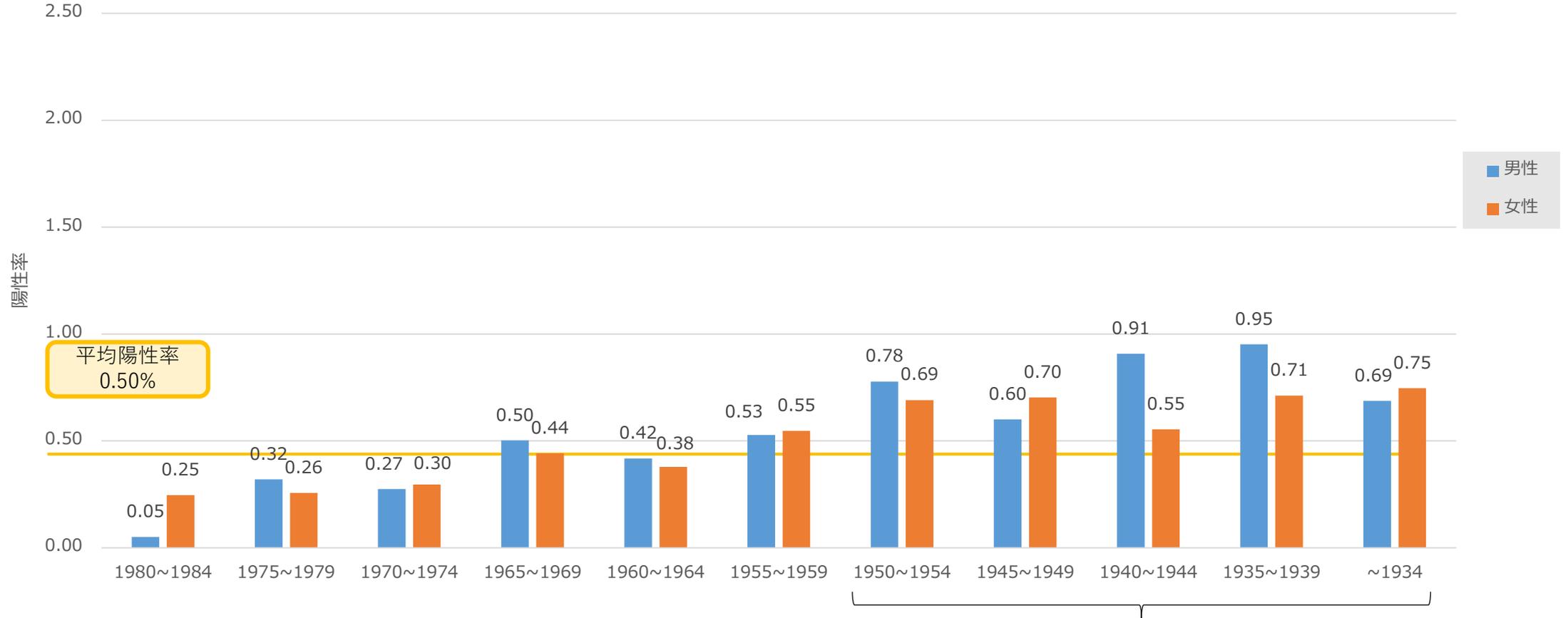


令和7年2月時点の岡山市住民基本台帳より、生年別男女別既受検率を予測。平均して25%の市民が肝炎検査を受検しており、1950~70年出生年代(50~70歳)の女性においては受検率が30%をこえる。

※既受検者については岡山市が提供する特定検診と感染症検査により算出。

# 岡山市のB型肝炎陽性率の出生年別推移

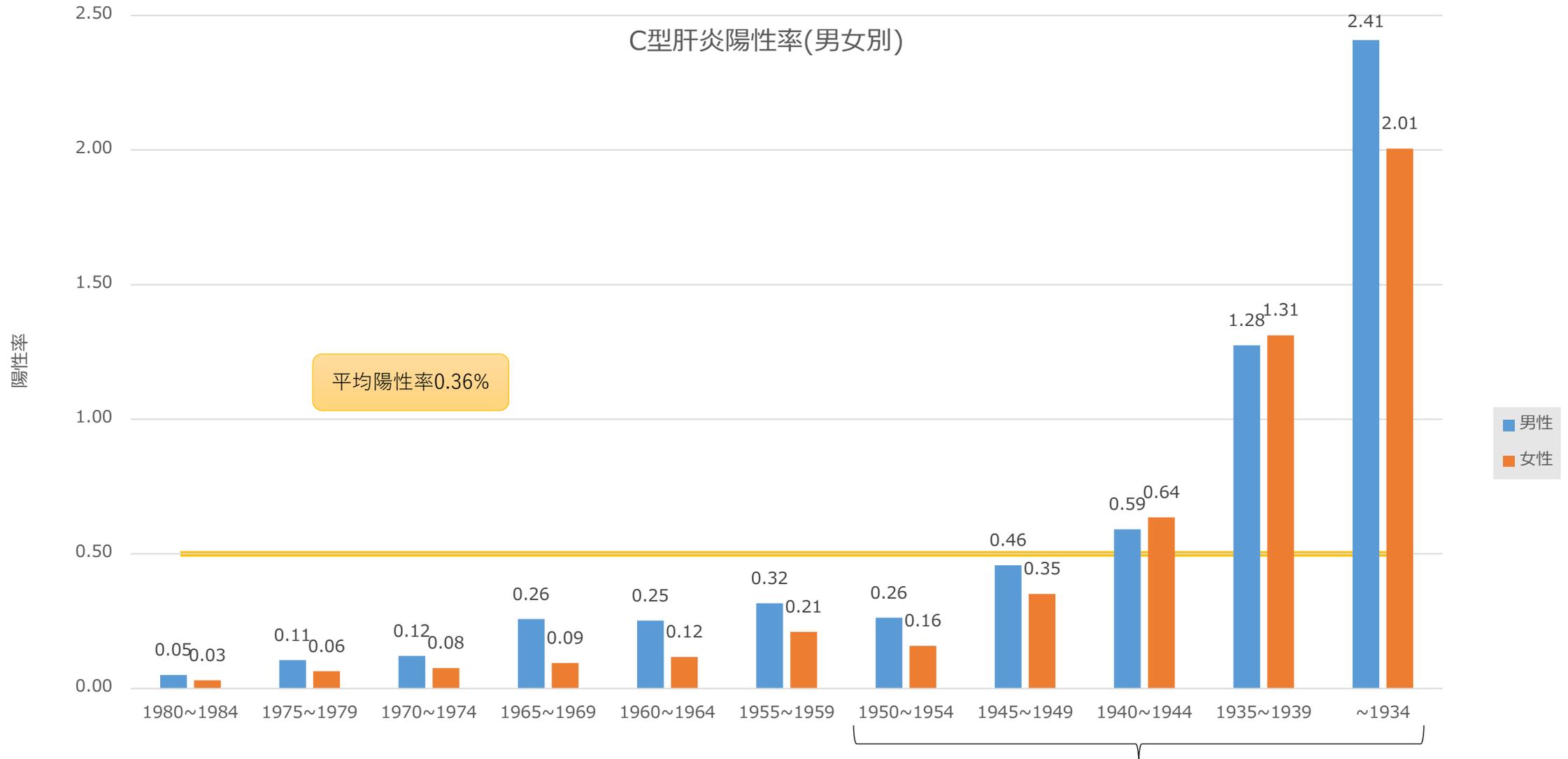
B型肝炎陽性率（男女別）



陽性者のうち70歳以上(1955年以前)が60%を占める

平成15年から令和5年までの20年間に岡山市検診および感染症でB型肝炎ウィルス検査を受けた検査者から得た、出生年別HBs抗原陽性率。

# 岡山市のC型肝炎陽性率の出生年別推移

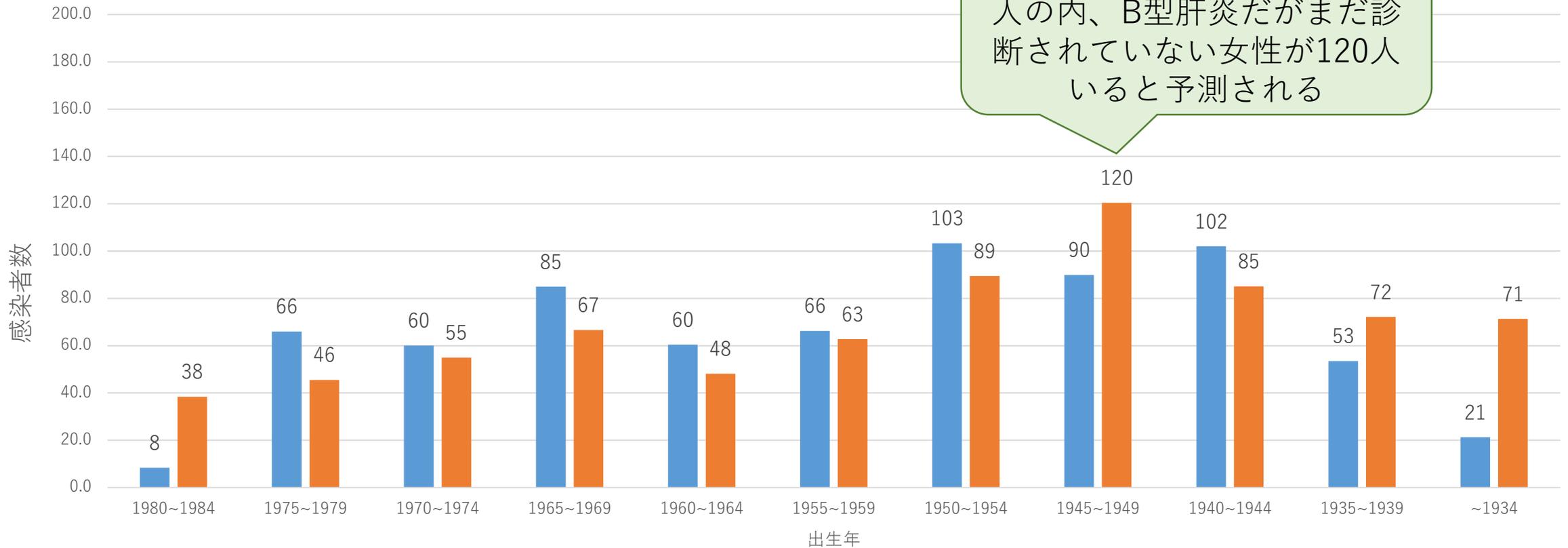


陽性者のうち70歳以上(1955年以前)が80%を占める

年齢とともに陽性率は上昇傾向

# 未受検者のうち、肝炎陽性率から算出される生年別潜在感染者数 = B型肝炎 =

B型肝炎潜在感染者数

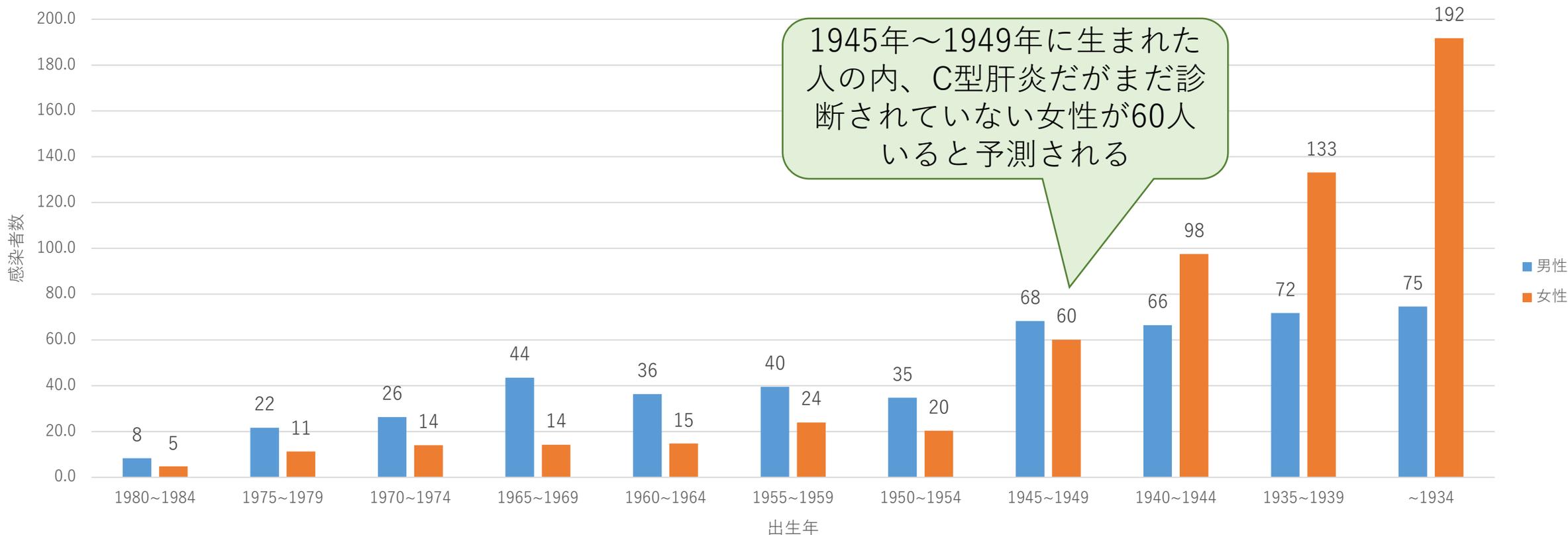


1945年～1949年に生まれた人の内、B型肝炎だがまだ診断されていない女性が120人いると予測される

未受検者に関しては住民基本台帳よりえられた人数から受検者（岡山市特定検診と岡山市感染症検査で受検したことが把握できている数）を差し引いた数。  
潜在感染者数は未受検者数と生年別陽性率から予測される数。

# 未受検者のうち、肝炎陽性率から算出される生年別潜在感染者数 =C型肝炎=

C型肝炎潜在感染者数



未受検者に関しては住民基本台帳よりえられた人数から受検者（岡山市特定検診と岡山市感染症検査で受検したことが把握できている数）を差し引いた数。潜在感染者数は未受検者数と生年別陽性率から予測される数。